



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和3年10月 1日

No.19

児童数 75名

校長 宍戸 与一

「まん延防止等重点措置」解除・・・

2学期スタートから、我慢・ガマンの毎日でした。制限が多い学校生活の中で、子どもたち、本当によく頑張りました。

「まん延防止等重点措置」が解除され、10月4日（月）以降は、学習活動の幅がだいぶ広がります。もちろん、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではないので、引き続き感染対策を徹底しながら教育活動を進めていきます。ご理解ご協力をお願いします。

タブレット活用☆進行中！

一人一台のタブレット端末を活用した学習活動を学年の段階に応じて進めています。最初は、パスワードの入力にも時間がかかっていた子どもたちですが、さすが慣れるのは早いもの、見たり聞いたり調べたり・・・自分の考えをまとめたり発表したりするツールとして、どんどん活用が進んでいます。タブレットの活用は、そのことが目的ではなく、あくまでも手段ですが、これからの時代を生きていく子どもたちにとっては、欠かせない学習手段ということを踏まえ、先生方も研修を重ねています。

三つ葉のクローバー

最近、子どもたちから立て続けに四つ葉のクローバーをプレゼントされました！(^^)!

私も探してみましたが、まったく見つけれません。㊦

インターネットで調べていろいろなことが分きました！！

クローバーの別名はシロツメクサ。江戸時代、オランダからガラス製
品が贈られてきた際、製品に傷がつかないように詰め物としてクローバーが入れられていました。このことから「詰め草」と呼ばれるようになり、そして、詰め草が白い花を咲かせるとということより、「シロツメクサ」の呼び名になったと。

子どもの時に、四つ葉のクローバーを探して押し花にしたり、茎の長いクローバーの花を集めて花冠を作ったりと、そんな思い出のある方は少なくないでしょう。(知らない方も多いのかな?) (笑)

四つ葉のクローバーは、出現率が10万分の1と非常に低いことや、4枚の葉脈が十字架に見えることから花言葉は『幸運』です。

それでは、三つ葉のクローバーの花言葉は何でしょうか？実は三つ葉のクローバーの花言葉も『幸福』なんです。つまり、多くの人たちは、目の前にある『幸福』を見過し、ちょっとしかないチャンス『幸運』を探し求めているのです。

人は辛いことや忙しさに遭遇すると余裕が無くなります。余裕が無くなると周りのものに目を向けられなくなります。すると、近くにある「幸せ」に気付かなくなっていきます。当たり前だと思っていることこそ、実は幸せなことも。そんなことは誰だって知っているはずなのに、すぐに忘れてしまいます。

失ったり取り返しがつかなくなったりしてから気付いたりするのです。

私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大から、改めて平凡な日常生活を過ごすことができることの幸せに気付かされたと思います。私たちの目の前には、たくさんの幸せがあって、私たちは幸せに包まれて生きているのでは。目の前にある、学校生活における学習、友達との活動や会話できることへの感謝を忘れず、新しい生活様式を実践しながら日々精一杯生活していきたいものです。



